

地域包括支援センターとは？

高齢者の方が、いつまでも健やかに住み慣れた地域で過ごせるよう、大分市の委託を受けて活動をしている総合相談窓口です。

地域包括支援センターでは、個別相談はもちろんのこと、地域の方々と協力し合いながら、誰もが安心して過ごせる地域づくりにも取り組んでいます。

戸次・吉野の小中学生に、

認知症サポーター養成講座を行いました！

小学生には、認知症について学ぶ前に、高齢者の見えにくさや手先の扱いにくさなどを体験してもらい、「高齢者の人の大変さを知った」「大変そうな人がいたら助けてあげたい」といった感想が聞かれました。

認知症については「症状を知って大変だと思った」との声がある一方で、認知症本人大使である戸上守さんや佐藤彰さんのお話も聞いてもらうことで、「怖い病気だと思っていたが、認知症になっても楽しく過ごせるし、できることはたくさんあると分かった」「症状は周りの人の接し方で変わるということがわかった」「認知症だからと扱いを変えず、普通に接したい」といった前向きな意見も聞かれました。

認知症を正しく理解し、あたたかく支え合うことで、認知症になっても住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけることを学んでもらえたように感じています。



認知症サポーターとは

認知症について正しく学び、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

養成講座を受講することでサポーターとなり、オレンジバッジまたはオレンジリングを受け取ることができます。



戸次・吉野地域包括支援センター

住所：大分市中戸次4557番地3

電話：(097)586-7170

《営業日時》

月～金曜日 8:30～17:30

土曜日 8:30～12:30

※来所の際は事前のご連絡をお願いします。

事務所



相談無料
秘密厳守

認知症は早期の受診や相談で、進行を遅らせられる可能性があります。ぜひ包括や医療機関へお早めにご相談ください。